

有縁の皆さんでお読み下さい

お浄土を己がいのちの行方といたたく仲間を念仏サンガという

お念仏の家族になろう

毎月 25 日発行

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

しょう しき しょう こう

青色青光

No.335



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

永代経法要・定期門徒総会

4月21日(日)

午後1時半より午後4時半まで

お勤め『仏説阿弥陀経』

住職法話「広げよう念仏サンガ」

総会

- ・令和5年度活動・会計報告
- ・令和6年度新役員承認
- ・令和6年度活動・会計計画
- ・道路拡張工事の進捗状況
- ・その他

はなまつり(灌仏会)

4月7日(日)

午後2時より午後4時まで

- ・花御堂をお花でお飾り
- ・おつとめ『ういはいのうた』
- ・ごえんさんのお話
「はなまつりってなあに？」
- ・誕生仏様に甘茶をかけてお祝い
- ・みんなで甘茶をいただきます
- ・「どうぶつ村のはなまつり」
- ・お花やお菓子のおみやげ

こんき常例布教

4月25日(木)

10:00 ~ 12:00 13:30 ~ 15:00

法話 純正寺住職 釋 覚恵

法題

「拝読浄土真宗のみ教え」

YouTube 純正寺チャンネル

LINE 純正寺公式アカウント

純正寺公式ホームページ

facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞していただけます。

住職法話 我聞如是

われかくのごとくきく

浄土の真を宗とするのが門徒②

浄土真宗に生きる
 〓門徒推進員中央教修をふりかえって〓

夕方からは「門徒推進員という生き方」という時間。既に中央教修を受講されている先輩門徒のお二人から、中央教修後の活動や課題、悩みをお聞きしました。お二人のお話の後には、教修生の方々からのご意見や質問などもあり、今後の門徒としての活動や生き方を考える上で、とても有意義な時間となりました。

三日目の午前は、第四法座「差別・御同朋の社会とは」でした。問題提起では、お浄土は阿弥陀仏の願いのはたらきであることを押さえ、浄土のカケラとして見つけた差別という自他の

差別の現実に向き合い、差別をなくす営みが浄土に向かつて生きることであるという提起の元、アイヌ民族差別の現実を紹介しつつ、日常の中に潜む無意識の差別について話し合いが行われました。各班では、第三法座と同様に教修生とスタッフとの信頼関係のもと、自身の差別・被差別の体験が聴き合われ語り合われたようでした。まとめでは、あらゆる差別の根は私の中にあり、「差別はなくする」という意識を基本に、差別の事実・現実を正しく知りつつ、差別をなくす営みを共にすることが浄土真宗に生きることであること

を確認・共有しました。

門徒を生きる決意

午後からは、仏教讃歌と「示談」の時間でした。慣れ親しんでいる讃歌から未体験の讃歌までを、聞き惚れるような素晴らしい歌声の先生から教わりました。

同時間に行われた「示談」とは、各班の教修生と僧侶スタッフが一对一で話し合い法座です。三日間で育った相互の信頼関係のもと、悩みの相談やこれからの活動についての相談など、教修生の皆さんそれぞれに手応えのある時間を過ごされたようです。

そして、中央教修最後の夜は教修中最大のイベントである「決意表明式」でした。本願寺の境内にある「龍虎殿」の三階を会場に行われる、これから浄土真宗の

門徒としてどのようにならなければならないのかを述べる、阿弥陀如来の仏前での宣誓式です。会場は、数本のろうそくだけが灯った、経本も見えないほどの暗い空間。その中で、教修生とスタッフが一糸乱れず『正信念仏偈』を高らかにお勤めしました。

お勤めが終わると、いよいよ一人ひとりの決意表明の時間です。法名が呼ばれると会場正面に歩み出て、お焼香の後に合掌をして、各々の決意を述べます。緊張感と高揚感のあまり言葉に詰まってしまったり、決意表明に続く法名の名のりを忘れてしまったり。その胸の高鳴りは私たちスタッフにも伝わり、思わず目頭が熱くなってしまうました。

式が終わって会場を出ると、そこにはスタッフが発

顔と拍手でお待ちうけ。感動で大笑い大泣きしながら、握手をしたり小躍りしたりと、忘れられないひと時となりました。続いて総会所にて茶話会。緊張が解けた安心と表明式の感動の思いを、一人ひとりが笑顔で語ってくださいました。

ここでは終わらない

そして四日目の最終日。最後の法座「念仏者としての生き方」では、それぞれの班で法座の振り返りや決意表明の内容のこと、これからの真宗門徒としての生き方などが話し合われました。そして教修最後のプログラム全体の全体会。聞法会館三階の多目的ホールで一重の輪になって、これから自覚ある真宗の門徒として歩み出す思いが、差別に向き合う私でいたいという言葉

等を通じて語られました。

また、この教修での出会いをここで終わらせるのは残念であるという熱く強い思いから、同期会の発足の提案があり、その場で全員の同意が得られて、教修終了後すぐに第二百八十四回門徒推進員中央教修同期会「284念仏サンガ」が発足し、既にグループPLIN Eも作られました。

そして、全体会の最後に今回の主任スタッフでありました私こと釋覚恵が、教修中に真宗門徒（念仏者）としての自覚を新たにされると、地元に戻って住職や他の門徒との温度差に悩み苦しむこともあることを、これまでの教修を修了された先輩方の苦悩の現状を紹介しながらお伝えし、何かしら新しいことに取り組みなければならぬのではな

く、これまでお付き合い程度で、これまでのお寺参りを、生きるよりどころに深く関わる教えと人とのつながりを実感するためのお寺参りであるのだと、認識を新たにすただけで十分であることをお伝えしました。その真の真宗門徒として生きる姿を通して、周りの人たちが感化されていくことを善導大師は「自信教人信」とおっしゃったことを申し添えました。

門徒というサンガ

長いようで短かった中央教修も、閉会式で教修生の皆さんが門信徒教化部部长から、晴々とした笑顔で一人ひとり修了証をいただきながら幕を閉じました。この中央教修にご縁をいただくようになって四半世紀。これまで二十回以上の教修にスタッフとして参加してきました。しかし、年々

体力気力ともに衰えてきて、コロナ禍の影響で四年もの間参画できなかつたこともあり、正直今回の教修は私にとって初めての、不安で仕方がない教修でした。

ところが、教修とスタッフの皆さんの、それぞれ違った個性を持ちながらも誰一人としてその違いを否定することなく、人数分の違った色が見事にお念仏に溶け合い響き合い、不思議な輝きを放ちだす姿を目の当たりにして、私の心は不安ではなく大きなよろこびに満たされました。再び、中央教修が好きなら私に戻れました。284念仏サンガの皆さん、本当にありがとうございました。同じ浄土うございしました。同じ浄土真宗という教えをよりどころとする、門徒というサンガと共に歩める道は、本当に嬉しく尊いものです。終



純正寺4月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



今月のエコキャップ 一、六三三、九五〇個 三月は、二八八一個のペットボトルキャップが集まりました。

キッズサンガ「ほとけの子ども会」

6日(土)・20日(土)
10:00~12:00
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しい遊びタイムです。

釈尊降誕「花まつり」

7日(日)
14:00~16:00
年齢性別は問いません

お釈迦様のお誕生を祝い感謝するつどい。花御堂で灌仏をしておつとめをします。お土産も。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

9日(火)・23日(火)
10:20~11:30
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くても柔らかい身体と心を作りましょう。

みんなの食堂ビハーラ

11日(木)・25日(木)
17:00~19:00
年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

14日(日)・28日(日)
16:00~18:00
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

「月例法話座談会」

17日(水)
14:00~16:00
年齢・性別は問いません

日常の「何故?」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

「永代経法要」「定期門徒総会」

21日(日)
13:30~16:30
純正寺門徒会所属門徒

前半の永代経法要は『正信偈和讃』のお勤めと住職法話。後半は、定期門徒総会です。

世のなか安寝なれ「ビハーラ彦根」

21日(日)
18:00~20:00
年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

みんな法友こんき常例布教

25日(木)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法朋ができる法座です。法話は、純正寺住職の釋覚恵です。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽に相談下さい。

相談予約専用電話番号は、
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み、『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

能登半島地震災害
支援金等ご協力の現況
二月に続き、三月も
支援金一万六千円をお
預かりいたしました。
三月三十一日・四月
一日の、純正寺住職達
の輪島市での活動に使
わせていただきます。